

【小学校算数】

小学校
算数

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均を下回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「数と計算」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「図形」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

今回の調査における課題

小数の乗法及び除法の計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算することや、概数及び偶数、奇数など整数についての理解を深めること。

基本的な平面図形の面積を計算で求めたり、身の回りの様々な量の大きさの見当を付けるなど、量の大きさの感覚を豊かにすること。

構成する要素に着目しながら図形を観察して分かったことを、問題解決に活用すること。

交換法則や結合法則、分配法則を活用するなど、計算の工夫について理解し、適切に用いることや、数量の関係を、割合に表したり、それを読んだりすること。

改善の方向

数直線や図を用いて、既習と関連付けながら、計算の意味や仕組みについて理解を深めるとともに、計算結果の見積りを生かしながらかつて正しく計算することができるよう習熟を図る指導や、数直線に表しながら、数の処理や数の性質について理解を深める指導の充実。

面積を求めるために必要な長さを自ら選択して測定したり、基準となる量を基にして身の周りの面積や体積、長さや重さなどの量について見当を付けたりする算数的活動を取り入れた指導の充実。

ものの形について観察したり、構成したりする活動を通して、基本的な図形についての理解を深め、問題解決に活用する指導の充実。

数を合成・分解するなど、多面的な数の見方を計算の工夫に生かす指導の充実や、数量(基準量や比較量など)の関係を割合(百分率など)や数直線、グラフ、式などに表すとともに、それらを相互に関連付けて数量の関係を読み取る指導の充実。

算数		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	数と計算	下回っている	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	量と測定	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度
	図形	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	数量関係	ほぼ同程度	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度
	短答式	下回っている	ほぼ同程度	下回っている	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度		ほぼ同程度		ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。